

<b>交渉情報</b>	<b>NO.84</b>	日本郵便信越支社 要員集配部
JP労組信越地方本部	2016年4月7日	添付資料:1枚

## 2016年度物数調査の実施について

日本郵便信越支社要員集配部は、本日（4月7日）「2016年度物数調査の実施」について地方本部に説明してきました。

標記趣旨は、郵便局における要員の把握及び諸計画策定上の資料とするためとしています。

1 調査項目として、（1）郵便物数等の事務取扱量－各種物数・各種箇所数・走行距離等、（2）郵便事業従事者の服務状況及び配置計画等－当日の勤務状況等、（3）その他付帯する事項－作業時間・区分機稼働状況・使用施設等。

2 調査対象局は、全郵便局（旧支店・旧集配センター）及び分室等施設とし、旧郵便局会社の郵便窓口業務は対象外。

3 調査期間は、（1）郵便内務について、① 地域区分郵便局（当該郵便局所属の分室等施設を含む）は2016年5月18日（水）から3日間のうち1日間、② 一般郵便局（当該郵便局所属の分室等施設を含む）2016年5月11日（水）から3日間のうち1日間、（2）郵便外務については2016年5月18日（水）から3日間のうち1日間。また通区状況について10月に調査を行うとしています。

※地本では、（中央交渉第269号、3月24日発出）で調査日を2日間としていたものを1日間とした理由について質したところ、DOSSでの日々の物数入力、また昨年引き続いての調査であるとの理由から1日間の調査データ判断で充分可能であるとの回答でした。

4 調査の報告は、郵便外務は5月31日（金）、通区状況は10月21日（金）まで、郵便内務は6月24日（金）までとしています。

## 今回調査変更点

### (内務)

- ア ロールパレットを大きさ（2.0m未満・以上）に分けて作業時間を調査。
- イ 追跡ゆうメールの取り扱い通数を把握するため「追跡ゆうメール」の再掲を行う。
- ウ 棚入、棚出物数を「通常郵便物」「書留郵便物」「ゆうパック等」に分けて調査。

### (外務)

- ア 受箱に配達ができず、対面配達（対面配達完了・不在持ち戻り）となった物数を新たに把握。
- イ 通区状況について10月に調査を行う。

地本では今回変更する調査項目について質しました、支社は今まで見えなかった取り扱い等の作業時間（大・小ロールパレットの取り扱い・追跡ゆうメール入力・投函不能の大型郵便物）について調査を行い今後の作業時間に反映したいとしています。

10月の通区状況の調査については、新規採用や人事異動期から半年が経過し各局の通区状況について調査を行い通区状況の向上に繋がりたいとしています。

研修や業研及び労働力措置について質したところ、外務（計画担当者）、旧集配センター代表の研修について行い、管内5ブロック（新潟・新発田・長岡・長野・松本）で開催し新潟と新発田は合同で行います。期間については5月10日（火）～5月13日（金）の間に実施するとしています。なお、物数調査に係る経費は年度当初に計画措置し、1日当たり一人1時間程度の超勤対応を見込んでいます。

【労使対応】 地本への情報提供